学校番号	414

令和８年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
英語	ディベート・ディスカッションⅠ	2	2	Let's talk about it!

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

この授業の３つの目標は
１．自分の考えを表現すること　２．相手を理解すること　３．臆することなく英語を使うこと　です。
ペア/グループワーク、身近なことから世界的な出来事まで、様々な話題について
１．理解を深める（目的意識をもって情報を探す/読むこと）　２．考えを表明する（話すこと/書くこと）
３．他の考えを知る（聞くこと）　４．検討する（反論する/どちらの意見が優勢か判断をする）
以上のことを英語で行えるように段階的に学習します。自ら考え行動する、深い学びをめざしています。一緒に学びましょう。

２ 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第２学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
学習到達目標	・語句の表現、文法事項などの知識を活用して、自分のことや身近な話題について、適切に書くことができる。	・説明，評論，物語，随筆などを，聞き手に伝わるように音読することができる。 ・文章の構成を考えながら読むことができる。 ・図表との関連を考えながら読むことができる。 ・未知の語の意味を推測したり背景となる知識を活用したりしながら読むことができる。	・日常的な事柄や自分のこと、身の回りのことについて、簡単なやりとりをすることができる。	・英語の音声的な特徴や内容の展開などに注意しながら話すことができる。 ・語句の表現、文法事項などの知識を活用して、自分のことや身近な話題について、適切に話すことができる。	語句の表現、文法事項などの知識を活用して、自分のことや身近な話題について、適切に書くことができる。

３ 評価の観点及びその趣旨

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度

観点の趣旨	・英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、話すこと、聞くこと、読むこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	・様々なコミュニケーション場面に即した英語でのやり取りを理解し、適切に応じることができる。 ・日常の話題や異文化に関する話題、社会的な話題について、それらの概要や要点を正しく理解することができる。 ・また、それらに対する自分の意見や考えを持ち、相手に伝わるように適切に表現できている。	・主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。また、英語を用いてのコミュニケーション能力を向上させるために必要な努力を粘り強く継続している。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
1学期	◎Let’s talk about it! Lesson1~3 ◎ Presentation1 校外学習 ◎〈表現〉 ・会話/応答 ・意見を述べる ・比較表現	話すこと	a: 発音やリズム、音のつながりを意識して話すことができる b: 自分の考えを相手に伝わる表現を用いて話すことができる c: 会話が円滑に進むように、質問したり、答えたりすることができる	授業観察 プレゼンテーション
		聞くこと	a: 発音やリズム、音のつながりを意識して、正確に聞き取ることができる b: 音のつながりを理解し、相手が話している内容を予測することができる c: 聞き取りが難しい場面では質問をし、積極的に聞き取ろうとする	ディクテーション プレゼンテーション 定期考査
		書くこと	a: 自分の意見を伝えるために適切な表現を用いることができる b: 自分の意見を裏付ける理由を述べることができる c: 自ら考え、課題に取り組むことができる	日々の課題 プレゼンテーション 定期考査
		読むこと	a: 文法事項を含め、英文の意味を正しく理解することができる b: 内容を正しく理解し、 c:課題に積極的に取り組むことができる	定期考査
	中間考査（実施しない）			
	◎Let’s talk about it! Lesson4~6 ◎Debate1 身近な話題	話すこと	a: 発音やリズム、音のつながりを意識して話すことができる b: 自分の考えを相手に伝わる表現を用いて話すことができる c: 会話が円滑に進むように、質問したり、答えたりすることができる	授業観察 ディベート
		聞くこと	a: 発音やリズム、音のつながりを意識して、正確に	ディクテーシ

	◎〈表現〉 ・理由を述べる ・反論する		聞き取ることができる b: 音のつながりを理解し、相手が話している内容を予測することができる c: 聞き取りが難しい場面では質問をし、積極的に聞き取ろうとする	ョン ディベート 定期考査
		書くこと	a: 自分の意見を伝えたり、相手の発言に反論したりするために適切な表現を用いることができる b: 自分の意見を裏付ける理由を述べることができる c: 自ら考え、課題に取り組むことができる	日々の課題 ディベート 定期考査
		読むこと	a: 文法事項を含め、英文の意味を正しく理解することができる b: 情報の取捨選択ができる c: 課題に必要な資料を自ら探し、意見の形成に活用することができる	ディベート 定期考査
	期末考査			
2学期	◎Let’s talk about it! Lesson7~11 ◎ Presentation2 修学旅行 ◎Debate2 保育に関する話題 ◎〈表現〉 ・優劣をつける	話すこと	a: 発音やリズム、音のつながりを意識して話すことができる b: 自分の考えを相手に伝わる表現を用いて話すことができる c: 会話が円滑に進むように、質問したり、答えたりすることができる	授業観察 ディベート
		聞くこと	a: 発音やリズム、音のつながりを意識して、正確に聞き取ることができる b: 発言内容を聞き取り、意見に優劣をつけることができる c: 聞き取りが難しい場面では質問をし、積極的に聞き取ろうとする	ディクテーション ディベート 定期考査
		書くこと	a: 自分の意見を伝えたり、相手の発言に反論したりするために適切な表現を用いることができる b: 自分の意見を裏付ける理由を述べることができる c: 自ら考え、課題に取り組むことができる	日々の課題 ディベート 定期考査
		読むこと	a: 文法事項を含め、英文の意味を正しく理解することができる b: 情報の取捨選択ができる c: 課題に必要な資料を自ら探し、意見の形成に活用することができる	ディベート 定期考査
	中間考査（実施しない）			
	◎Let’s talk about it! Lesson12~16 ◎Debate3 保育に関する話題	話すこと	a: 発音やリズム、音のつながりを意識して話すことができる b: 自分の考えを相手に伝わる表現を用いて話すことができる c: 会話が円滑に進むように、質問したり、答えたりすることができる	授業観察 ディベート
		聞くこと	a: 発音やリズム、音のつながりを意識して、正確に聞き取ることができる	ディクテーション ディベート

	◎Debate4 社会的な話題		b: 発言内容を聞き取り、意見に優劣をつけることができる c: 聞き取りが難しい場面では質問をし、積極的に聞き取ろうとする	
		書くこと	a: 自分の意見を伝えたり、相手の発言に反論したりするために適切な表現を用いることができる b: 自分の意見を裏付ける理由を述べることができる c: スライド作成の際、伝わりやすいように工夫する	日々の課題 ディベート 定期考査
		読むこと	a: 文法事項を含め、英文の意味を正しく理解することができる b: 情報の取捨選択ができる c: 課題に必要な資料を自ら探し、意見の形成に活用することができる	ディベート 定期考査
	期末考査			
3学期	◎Let’s talk about it! Lesson17~20 ◎ Presentation3 将来に関する話題 ◎Debate5 世界的な話題	話すこと	a: 発音やリズム、音のつながりを意識して話すことができる b: 自分の考えを相手に伝わる表現を用いて話すことができる c: 会話が円滑に進むように、質問したり、答えたりすることができる	授業観察 プレゼンテーション ディベート
		聞くこと	a: 発音やリズム、音のつながりを意識して、正確に聞き取ることができる b: 発言内容を聞き取り、意見に優劣をつけることができる c: 聞き取りが難しい場面では質問をし、積極的に聞き取ろうとする	ディクテーション プレゼンテーション ディベート
		書くこと	a: 自分の意見を伝えたり、相手の発言に反論したりするために適切な表現を用いることができる b: 自分の意見を裏付ける理由を述べることができる c: スライド作成の際、伝わりやすいように工夫する	日々の課題 ディベート 定期考査
		読むこと	a: 文法事項を含め、英文の意味を正しく理解することができる b: 情報の取捨選択ができる c: 課題に必要な資料を自ら探し、意見の形成に活用することができる	ディベート 定期考査
	学年末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度